

生産は4カ月ぶりマイナスも水準は高い 消費は回復傾向を継続、住宅需要は堅調

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、4カ月ぶりに前年同月比マイナスとなった。電子部品・デバイス工業が同+48.4%と上昇した一方で、輸送機械工業が同▲42.3%と低下した。

8月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同+2.8%と29カ月連続のプラスとなった。ドラッグストアは、27カ月連続プラスの同+5.8%と消費活動をけん引し、ホームセンターは同+3.2%と9カ月ぶりプラスとなった。

新設住宅着工戸数は、3カ月連続で前年同月比プラス。持家は2カ月連続の前年同期比プラス、貸家も3カ月連続でプラスとなった。

各指数の矢印については現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



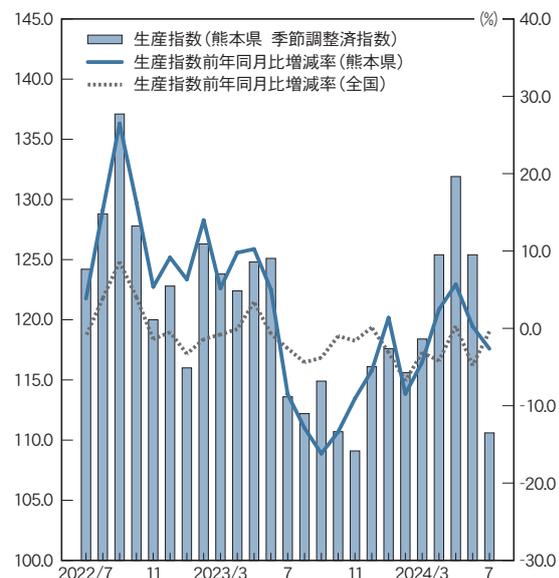
前年同月比4カ月ぶりマイナス(7月)

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比▲2.6%の110.6と4カ月ぶりにマイナスとなった。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、電子部品・デバイス工業（同+48.4%）や窯業・土石製品工業（同+10.0%）などが上昇した。一方で、輸送機械工業（同▲42.3%）や木材・木製品工業（同▲27.8%）など10業種で低下したが、依然として高水準となっている。業種別寄与度を見ると、電子部品・デバイス工業が+2.80ポイント、食料品・たばこ工業が+0.60ポイント、窯業・土石製品工業が+0.49ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路は188.2（同▲22.4%）と低下した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



着工戸数は3カ月連続前年比プラス(8月)

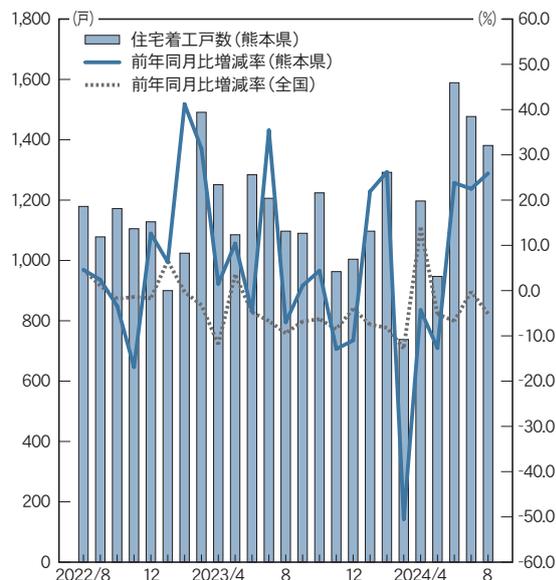
8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+25.9%の1,381戸となり、3カ月連続のプラスとなった。

利用関係別にみると、持家が513戸（前年同月比+25.7%）、貸家は573戸（同+18.4%）、分譲は293戸（同+51.8%）となっている。

持家は今年7月に18カ月ぶりに前年同月比を上回り、2カ月連続で前年同月比プラスとなった。また、貸家も3カ月連続で前年同月比プラスとなった。

なお、全国の8月の新設住宅着工戸数は、66,819戸（同▲5.1%）となっており、4カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比プラス(9月)

9月の公共工事件数は前年同月比+16.2%の652件となり、請負金額は同+2.0%の310億円と

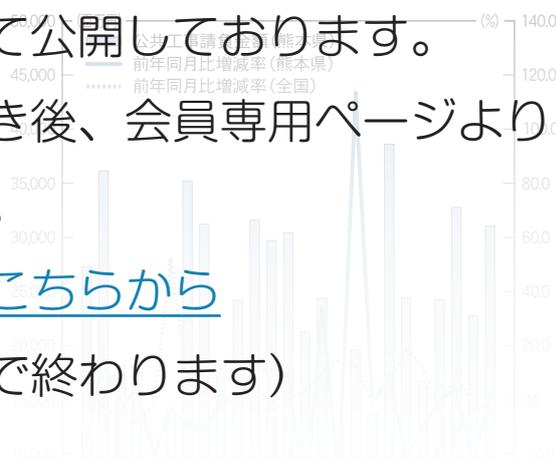
以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、国会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

請負金額は、国は155億9,000万円（前年同月比▲14.7%）、県は126億円（同+28.9%）、市町村は128億1,000万円（同+32.2%）、市町村（除熊本市）は66億1,700万円（同+9.5%）となっている。

地区別では県内11地区のうち、上益城地区、阿蘇地区などの4地区が前年比プラスとなった。宇城地区、玉名地区などの7地区がマイナスとなった。

公共工事請負金額前年同月比



[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)